

(仮称)川柳学園・(仮称)明正学園地域準備会を開催しました

令和5年2月14日(火)、川柳地区センター・公民館において、(仮称)川柳学園・(仮称)明正学園地域準備会を開催しました。令和9年度の(仮称)川柳学園・(仮称)明正学園開校に向けて、必要事項について意見交換と情報共有を行いました。

報告内容

- ①学園地域準備会について
- ②小中一貫校整備の延期及び延期に係る説明会について
- ③川柳小学校の校庭整備等について
- ④関係小中学校の学園開校に向けた取り組みについて

以上の4点について報告を行い、説明会の中でどのような意見等があったのか質問がありました。「学園開校が1年間延期となるが、本当に3学園構想は進むのか」といった保護者からの声に対し、議会からの指摘事項を課題として受け止め、教育委員会のみならず全庁的な取り組みとして解決を図るとともに、これまで以上に丁寧に説明を重ね、来年度の9月議会で契約議案が承認いただけるよう進めていく旨を回答したことをお伝えしました。

また、学園開校に向けた取り組みについて、集団の中で身に付けられるコミュニケーション能力などの社会的資質を意識して取り入れてほしい旨のご意見をいただきました。

協議内容

- ①学園地域準備会の検討内容について

学園開校までの学園地域準備会で検討すべき内容について協議を行いました。学園開校に向けて、制服等学用品の作製についてや、PTA 本部の小中学校での連携について、ご意見をいただきました。



川柳小学校の仮設校舎が完成しました

令和4年10月より整備を進めていた川柳小学校の仮設校舎が完成しました。今年度中に検査等を終え、令和5年4月より使用できるようになります。校舎の中には普通教室を9教室、昇降口、トイレ・だれでもトイレ、給食配膳スペース等を設置しています。



学園開校に向けた取り組みを紹介します

川柳小学校

川柳小学校では5年後の学園開校を見据え、「持続可能な未来社会の創り手の育成」という研究主題のもと総合的な学習の時間に力を入れて教育活動を行っています。授業の中で、「なぜ」を問う『一往復半の対話』を積み重ねたり、1テーマの中で探究的な学びを2回行う『ツーサイクルの学習過程』を用いたりしながら、児童が主体的に課題を設定し、思考力・判断力・表現力の向上を図る活動を行っています。追求すべき学習課題の解決に向けて、子どもたちは自分の意見を活発に出しながら、自分たちの考えをまとめたり、動画等で表現したりする学習活動を行っています。



課題をもたせる授業



児童たちの話し合い

明正小学校

体力を高める、体育好きの子どもを育てるため、明正小学校では体育科に力を入れて、小中学校9年間を意識した教育活動を進めています。例えば、光陽中学校の1年生が行う内容に合わせて5・6年生の体育科のカリキュラム編成を行い、中学校1年生の授業内容につながるように小中学校の系統的な学習を進めています。

また、タブレット端末を活用し自分の考えを明確にしながら、自ら課題を見つけ課題解決を図っています。光陽中学校でもタブレット端末を活用した活動を行っており、小中学校でタブレット端末の活用が進んでいます。



タブレット端末の活用



課題解決に向けた運動の工夫

光陽中学校

ICT を活用して小中学校で交流する取り組みを行っています。例えば、光陽中学校の英語教員が光陽中学校にいながら、明正小学校とオンライン会議システム(Webex)でつながり、明正小学校にいる児童と双方向での交流を行っています。複数のクラスと同時につながり、英語でのクイズを行ったり、光陽中学校での学習内容や学校生活などについての明正小学校の児童からの質問に光陽中学校の教員が答えたりしていました。授業後には、明正小学校の児童から「光陽中学校のことがわかって、中学校に行くことに興味を持てました。」という感想が寄せられました。



小中でのテレビ画面の共有



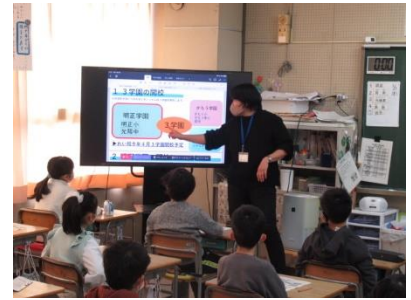
複数クラス同時での交流

小中一貫校について児童への説明を行いました

11月に開催した小中一貫校整備の延期に係る説明会にて「直接影響のある子どもたちにも説明をしてほしい」というご要望をいただきました。これを受け、教育委員会としても対応が必要と考え、関係する蒲生小、蒲生南小、川柳小、明正小の1～5年生を対象に、関係小学校にご協力いただき、小中一貫校の整備や延期に伴う変更点等を説明しました。

明正小学校では、各担任の先生が子どもたちの理解に合わせて、テレビ画面に映した教育委員会作成の資料を活用しながら説明を行っていました。子どもたちは令和9年度に中学校が分かれる際も光陽中学校で生活することなどについて、しっかりと説明を聞いていました。

川柳小学校では、校長先生からの動画メッセージを通じて各学級への説明がありました。子どもたちの授業で学習した内容にもふれながら、小中一貫校開校に向けた取り組みを進めていることを確認していました。現在整備中の仮設校舎や拡張用地などについても説明があり、子どもたちは今後のことに意識が向いている様子でした。



明正小での説明の様子



川柳小での説明の様子

小中一貫校整備室ホームページのレイアウトを変更しました

越谷市のホームページがリニューアルされたことに伴い、小中一貫校に関する情報がより分かりやすく、見やすくなるように小中一貫校整備室のホームページのレイアウトを変更しました。「3学園」のページでは各学園の小中一貫校だよりをご覧になれます。また、「お知らせ（保護者・地域の方へ）」のページでは小中一貫校整備の説明会等、小中一貫校整備に関する情報を提供しております。

越谷市ホームページトップページ > 子育て・学び > 教育 > 小中一貫校



越谷市 HP



小中一貫校整備室の Twitter のアカウントを開設しました

保護者・地域の皆様への新たな情報発信の方法の1つとして、小中一貫校整備室の Twitter アカウントを開設いたしました。小中一貫校3学園の開校に向けた取り組み等を発信していきます。ぜひ、フォローしてください。

また、小中一貫校整備室の Twitter アカウントの開設についてのチラシを市内全小中学校、市内全地区センター、越谷市役所出張所に掲示しております。

越谷市教育委員会学務課小中一貫校整備室

@koshi_ikkan

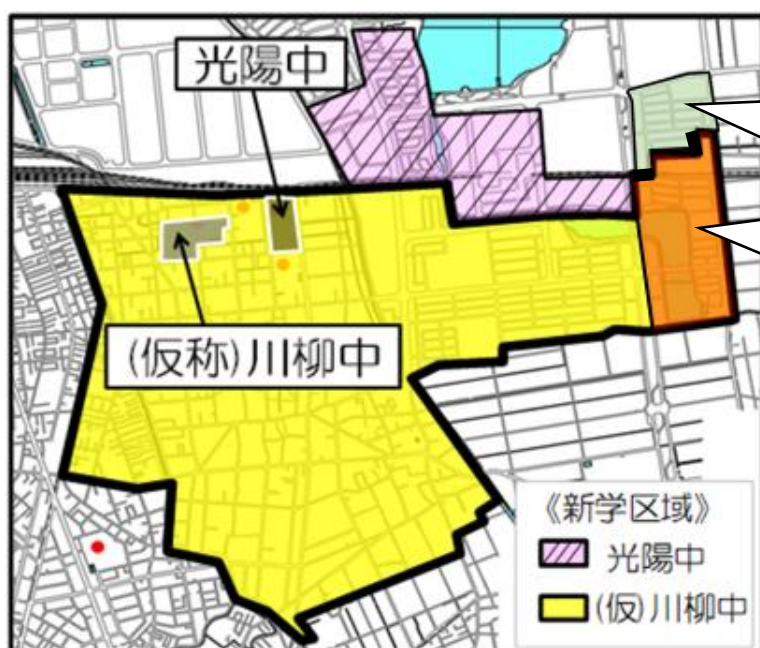
【URL】 https://twitter.com/koshi_ikkan



小中一貫校整備室
Twitter

大相模中学校と光陽中学校の通学区域の検討

小中一貫教育のより効果的な実現を図るために、小中学校の通学区域一致に向けた検討を学区審議会を進めています。現在、(仮称)川柳中学校の設立に向けて、大相模中学校と光陽中学校の通学区域の見直しについて検討を進めているところです。見直しの内容として、レイクタウン5丁目(12-2・14~37)は、現在、小学校は川柳小学校の通学区域ですが、中学校は大相模中学校の通学区域です。今後、対象区域の児童の進学先を、一旦、光陽中学校に変更する予定です。そして、令和9年度に(仮称)川柳中学校を新設するのに合わせて、対象区域を含む川柳小学校区にお住いの児童の進学先を光陽中学校から(仮称)川柳中学校とするように通学区域を再度変更する予定です。したがって、下図の太枠で囲まれた部分にお住いの児童の皆さんが令和9年度より(仮称)川柳中学校へ入学する予定となります。なお、光陽中学校の在校生も同年に(仮称)川柳中学校に移動することを予定しています。



大相模小学校を卒業し、大相模中学校へ入学する区域。【レイクタウン5丁目(1~11、12-3~12-999, 13)】

川柳小学校を卒業し、(仮称)川柳中学校へ入学する予定の区域。【レイクタウン5丁目(12-2・14~37)】

現在、大相模中学校の通学区域のため、一旦、児童の進学先を大相模中学校から光陽中学校に変更し、令和9年度に光陽中学校から(仮称)川柳中学校に再度変更する予定です。